

# 三珠保育所保育課程



<b>保育目標</b>		☆一人一人の子どもが、昨日より今日、今日より明日へ健やかに、伸びやかに成長するために養護、教育を行う。	
<b>保育方針</b>		☆一人一人の子どもが、快適に保育所生活ができるよう、家庭との連携を積極的に図りながら保育所の特性や保育士等の専門性を生かして援助にあたる。 ☆いろいろな人との触れ合いや、遊びの中から見る(観)聞く(聴く)考える機会を設け感性を育てる。	
発達過程	発達の主な特徴	養護(生命の保持と情緒の安定)に関わる狙ねらいと内容	教育(健康、人間関係、環境、言語、表現)に関わるねらい及び内容
1歳児	歩行が完成し探索活動が盛んになる身振りや片言など要求を伝えようとする。	安定した保育者との関わりのもと一人一人の欲求を受容し安心した生活が、送れるようになる。 子どもの健康状態に留意し保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努める。  家庭との連携を常に保ち情緒の安定を図る。	一人一人の発達や月齢、健康状態に合わせた生活を送れるようにする。  一人一人と十分に触れ合いながら子どもの気持ちを受け入れ信頼関係を築く。  身の回りの物に興味を持ち触れたり試したりして遊ぶ。
2歳児	基本的運動機能や指先機能の発達が見られる。他児との関わりや自己主張の発揮が多くなる。	一人一人の子どもが快適且つ安全に健康で生活できるようになる。 家庭との連携しながら適切な生活リズムがつけられる。 子どもの気持ちを受容し共感しながら信頼関係を築いていく。	環境設定に留意しながら運動機能の発達を促す。  生活や遊びの中で子ども相互の触れ合いを経験する。 身近な環境に関わり様々な事象に興味、関心を持つ。 自分の意思や欲求を言葉で伝え興味のあること経験したことを生活の中で自由に表現する。
3歳児	基本的生活習慣の自立がほぼできるようになる。自我の芽生えが始まり友達との関わりが多くなる。様々なことに期待を持って行動し遊びが発展する。	保健的で安全な環境を作り適切な援助や応答的な関わりを通して子どもの生理的な欲求を満たす。 全身を使った運動を取り入れ家庭と協力しながら基本的生活習慣、リズムが作られ子ども達が意欲的に生活できる。 一人一人の気持ちを受け止め共感しながら、信頼関係を作り活動や経験から自信が、持てるようになる。	健康安全な生活ができるよう戸外遊びや運動、活動に親しむ。 保育者や友達、いろいろな人の存在に気づき触れ合い模倣っこ遊びをする中で聞く、話すなどの表現を楽しむ。  自然や身近な事象に関心を持ち大切にす。  音楽、物語、体、手先などを使って感じたこと、考えたことを自由に表現する。
4歳児	体の動きが巧みになる。自意識が芽生え他者へのつながりや感受性がでる。	保健的で安全な環境を作り一人一人の欲求が十分に満たされ情緒の安定した生活ができるようになる。 一人一人の健康状態を把握し、体力作りに取り組み、それぞれの子どもの欲求を受け止め個々の主体的活動を促し自信と信頼感を獲得していく。	健康安全な生活ができるよう体を十分動かし友達とのつながりを広げ、集団遊び、伝承遊びを通して思いやりや優しさの気持ちを持つ。 身近な事象や事物に興味や関心を持ち絵本や物語などに親しみ思ったことを工夫して表現する。 遊びを通して生き生きと自信を持ち友達と競争しながら感情豊かに過ごし、いろいろな人の話を聞き考える力をつける。
5歳児	生活習慣が自立する。自分なりによく考え物事の判断がしっかりできる。仲間意識が強くなり仲間の中の一人として自覚を持つ	自分でできることの範囲を広げながら健康安全など生活に必要な基本的習慣や態度を身につける。 子どもの気持ちを考え温かく受容し信頼関係の中で、情緒が安定し尚、且つ一人一人が持っている可能性や力が十分発揮できる様にしていく。	友達との関わりの中で決まりを作って、それを守りながら自分の意見を表示し相手の気持ちを尊重しながら楽しく遊ぶ又異年齢児との関わりを大切に感受性を育てていく。 目標に向かって努力し取り組む中で、やり遂げる気持ちを大切に自信へとつなげていく。 絵本や童話を通してイメージを豊かに広げ、言葉の充実を図り感じことや想像したことを自由に工夫して表現する。
6歳児	思考力と自立心が高まり様々な知識や経験を生かし創意工夫を重ね遊びを発展させる	心身共に健康な生活、体の動きや仕組み、生命の大切さへの関心と理解を持つ。 一人一人の気持ちや考えを理解受容し信頼の基盤を築き自発性や探索意欲を高める。	快活に行動し自信を持って生活する中で、友達や異年齢児との関わりを大切に感受性を育てる。 内面の成長や心の豊かさが現れ感じたこと想像したことを自由に表現する。 就学への期待と意欲が高まり、様々な行動が自信、自立へとつながる。

